

「ASEAN 諸国との連携・協働による次世代医学・保健学グローバルリーダーの育成」

外国人特別学生用 「面接」・「インターネット・インタビュー」実施報告書

申請者氏名	Ms. Pataraporn Phonwat Ms. Supapitch Muanginn	
面接又はインターネット・インタビュー 実施日及び方法	4 月 20 日 (月) 第 1 回目 【直接面接 ・ ネット会議 ・ 電子メール】 ○で囲むこと。 (面接・ネット会議を実施した場所： E803)	
実施担当教員	教育研究分野	国際保健学領域
	氏 名	松尾博哉、小寺さやか、上杉裕子
学位論文又は研究課題	学生受入のためのテレカンファレンスシステムでの面接	
実施内容 教員質疑：1. 日本への渡航希望の動機、2. 日本で何を学習したいか、3. 病院見学はどのような部門を希望するか、4. 日本文化の何に興味があるか、など。		
申請者応答： 1, 2. 日本の看護スキルや教育システム、医療テクノロジー等を学びたいと思っている。日本とタイとの比較からの学びが得られると思う。病院だけでなく、地域等においても色々と学びたい。 3. Pataraporn Phonwat：急性期部門に興味がある。Supapitch Muanginn：糖尿病などの慢性期部門に興味がある。 4. 日本の衛生的で整然とした環境や日本人のマナー等に関心がある。また、文化面では歌手やアニメに加え、日本食にも興味を持っている。		
実施担当教員所見（入学後の学位論文作成能力の有無等） 二人とも大変明るく、前向きな印象であり、英語能力も留学するに十分であると感じられた。 日本のあらゆることに興味を持っており、貴重な留学経験となると期待された。		